

ノーサイド

北原 巖 男

を」といったエールをイチ

ローさんが送ったという。セーフティーにやっ
ているだけではたどり着け
ない景色があつてね。無
理もいつかはできなくな
るのなら、できるうちにや
っておくよ。やすきに流れ
かねない自分にも負けたく
ない。できる限り無理を
は僕にとつてもテーマで
す」(2021年10月8日
付け日本経済新聞「サッカ
ー人として」)

“できる限り無理を”

さん。当年とつて84歳の鉛
筆画家。児童館では小学生
の子供達に熱心に絵を教え
ています。絵を描いたこと
が無かつた東ティモールの
子供たちの作品について
も、温かく包んで評価し励
ましてくださる。そんな方
です。また、ガリガリに瘦
せた体を駆使して、あの越
えの国・出雲崎出身の良寛
さまの足跡を一人訪ね、訪
ね、作品創作の真っ只中に
います。

うに尖らせて描きます。手
のひらに刺すと跳び上がる
ほど痛いですよ。だんだん
と短くなっていく鉛筆はこ
うして鉛筆ホルダーに付
けてギリギリまで使い切り
ます。鉛筆に感謝です」そ
う言つて、ポケットから愛
なのだ・・・」

なにはない景色に縁
を
題名のないこんなあり
ふれた今日が
僕たちが作り出した
生涯一の名作さ
Trust me
きつぷらう
Oh baby
I believe in future
No matter what
may come
No matter what it
takes
No matter what
people say」

「エンゼルスの大谷翔
平さんは、自分の信する
ところがとにかく変わら
ない人なんじゃないだろ
うか」
こんな出だしでサッカ
ーの三浦知良さんが書い
ています。

として「無理はでき
る間にしかできない。で
きる限り無理をしながら
翔平にしか描けない時代
孝史(やすすみ たかし)

しかし、安っさんは、鉛筆
画作成を通して、かけがえ
のないオンリーワンの人生
の花を活き活きと咲かせ続
けています。つい最近、両
眼の白内障の手術を受けま
す。

「僕は消しゴムは
使いません。それは、人生
が後戻り出来ないように、
消すことは出来ないのと同
じことと考えています」
「僕は鉛筆の芯を針のよ
なことで書いていました。」

北原 巖男(きたはらい
わお) 元防衛施設庁長
官。元東ティモール大
使。現日本東ティモール
協会会長。(公社)隊友
会理事